

R7 おおいた ものづくり発見! パック

すごいぞ!
みんなの周りの日本一
made in オオイタ



大分県

みんな、大分の様々な企業が、身の回りのいろいろな製品
をつくっていることがわかったかな?
この本に登場する企業の技術一つ一つが、日本のものづくり
を支えているんだ。興味がわいた企業のことをみんなで調べて
みてね。



年 組

名前

この本を読むみなさんへ

この本を通じて、みなさんに知って欲しいことは二つあります。

一つ目は、わたしたちの毎日の暮らしは、たくさんの「ものづくり」に支えられて成り立っているということです。例えば、わたしたちの日々の食べ物を世界中、日本中から運んできてくれる大きな船や自動車も、一つ一つの部品それが、数え切れないほど多くの人たちのたゆまぬ工夫や努力の積み重ねで、できあがっています。

二つ目は、みなさんが住んでいる大分県は、そうした「ものづくり」については、日本でも、また、世界でもトップクラスの地域だということです。大分でつくられた様々な製品が、日本人の人、世界中の人の暮らしを支え、より良いものにしています。

みなさんが、この本を読んで、「ものづくり」に興味を持ち、大分県がすごいところなんだと感じてくれれば幸いです。そして、大人になったら、日進月歩の大分の「ものづくり」の世界に飛び込んで、みなさんそれぞれの知恵と工夫を活かしてくれれば、と願っています。

大分県教育委員会教育長 山田 雅文
大分県商工観光労働部長 利光 秀方

目次

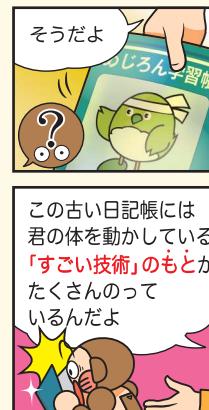
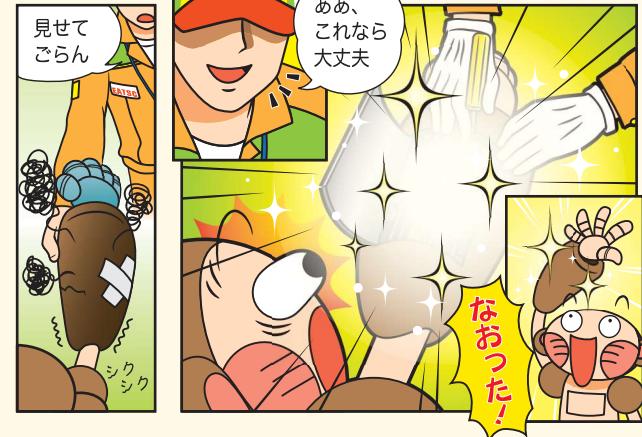
・この本を読むみなさんへ	1
・サルロボ 現在の大分に来る	2
① ぼくんちの朝	4
産業のもとになる材料・金属	7
② 学校へ行こう	10
世界の海へ！ 大分の船、船ができるまで	15
ようこそ！ 溶接の世界へ	16
③ ぼくの学校生活	17
発酵って何だろう？？、地産地消の取り組み	22
世界に羽ばたく メイド・イン・Oita	23
④ 社会見学で次世代エネルギーパークへ	25
大分県次世代エネルギーパークに行ってみよう	27
発電の原理	28
⑤ 社会見学で自動車工場へ	29
自動車ができるまで	31
自動車製造を支える基盤技術	32
⑥ おばあちゃんの病院	33
仕事って何？～ものづくりの仕事～	35
⑦ ぼくの夢	37
宇宙への挑戦 !!、空や宇宙に向けた県内企業のチャレンジ	40
様々な分野で用いられる半導体	41
・暮らしに仕事に、広がる新技術（IoT、ドローン）	43
・科学技術やものづくりをもっと知りたい、体験したいキミへ	44
・県立工科短期大学校（工科短大）	46
・大分県を支える工業高校	47
・掲載企業一覧	49

現在の サルロボ 大分に来る

何十年先か、ひょっとすると意外と近いかもしれない未来の話。

大分の高崎山の近くに、ものづくりや技術が大好きなロボットがいました。名前はサルロボ。いつもは友達の人間やロボットといろいろなものをつくり、発明したりして楽しく過ごしていました。

ある日、サルロボの腕がものすごい音を立てて動かなくなりました。困ったサルロボは、修理をしてもらうために電磁力応用技術支援センターというところに駆け込みます。そこで、サルロボは驚くべき体験をするのです。



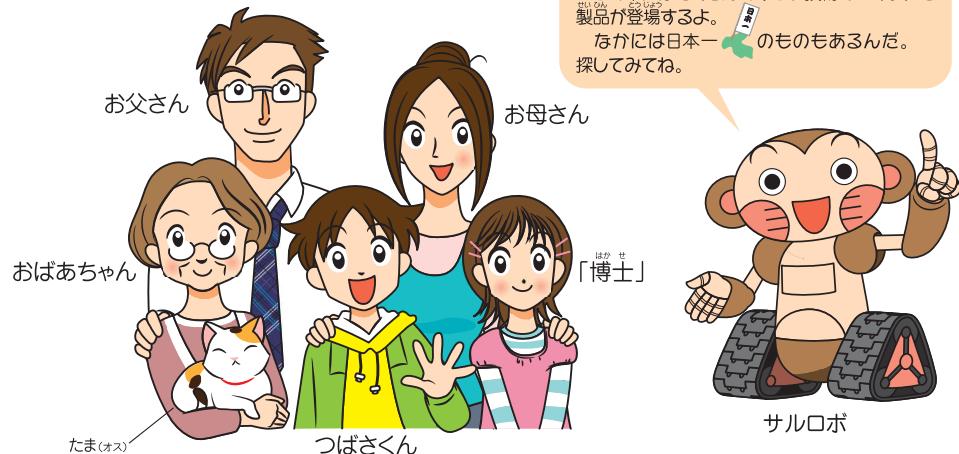
ということで、サルロボは日記の作者であるつばさくんにあうために、現在の大分に旅立ったのでした。

ぼくんちの朝



では、みんなもサルロボやつばくんと日記帳を見てみましょう。

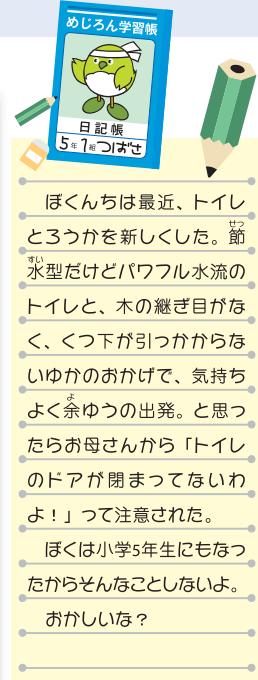
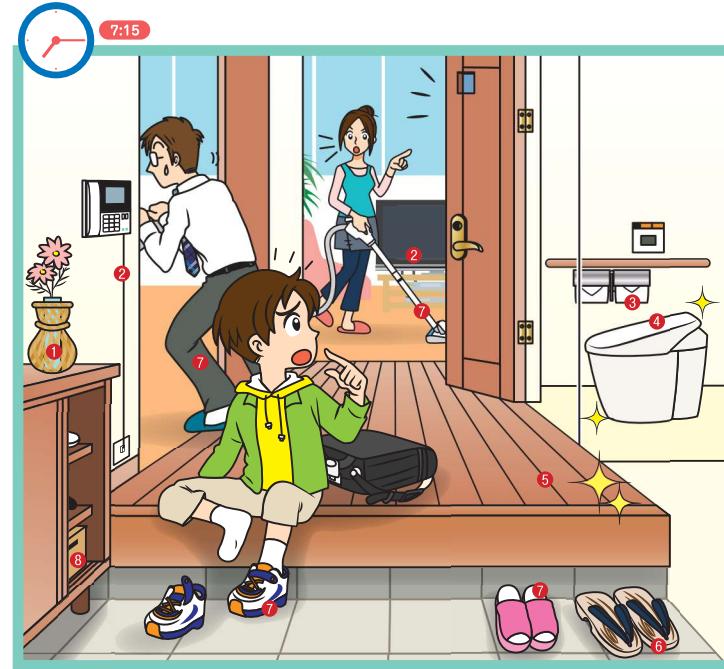
登場人物紹介



- made in (メイド・イン) ~~~~~ 「～でつくられたもの」という意味の英語
- 工業製品 原材料を人の手や機械を使って加工し、新たにつくり出されたもののこと
- シェア 市場（例えば、全国や世界の市場）の中で、ある会社の製品が占める割合のこと
- 基本となる単位（例えばgやm）の前に

数が大きくなると	K (キロ)	M (メガ)	G (ギガ)	T (テラ)
	千倍	百万倍	十億倍	一兆倍
小さくなると	m (ミリ)	μ (マイクロ)	n (ナノ)	
	千分の1	百万分の1	十億分の1	

という記号がつきます。



ちよつと
むずかしい
言葉

「ぼくんちの朝」に隠れていた大分でつくれられているもの



つばさくんは元気に学校に出発したね。
さて、このシーンはぼくの目で見るとこんなふうに見えているんだ。
どんなメイド・イン・大分が登場するのかな？みんなで考えよう！

「ぼくんちの朝」に隠れていた大分でつくれられているもの

① 竹花籠 別府竹製品協同組合

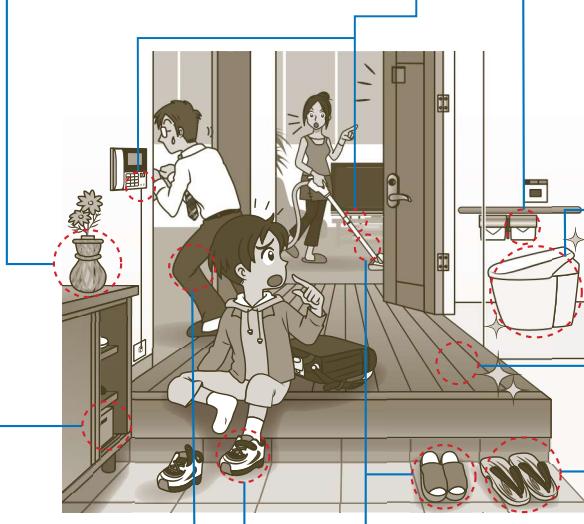
別府竹細工は、長い歴史を持った国指定の伝統的工芸品。竹ヒゴをさまざまな形で編み上げる「編組」技術が特徴で、竹工芸品では国内有数の生産額を誇っています。海外からの評価も高まっています。



② 電気製品の配線に使われる銅 JX金属製鍊 佐賀関製錬所

銅などが混じっている鉱石を溶かして、純粋なものにする「製錬」をしている工場です。この工場の自溶炉（銅を溶かす炉）は1つの炉としては世界最大級の生産処理能力を持っています。銅は金属の中でも電気をよく通す性質があるので電線や自動車のハーネス、スマートフォンなどにも使われています。銅以外にも金や銀といったアーティカルも生産しています。（→P7で詳しく紹介）

大分市



③ トイレの便器 TOTO サニテクノ

衛生陶器（トイレの便器）などをつくりています。最近は、流すに使う水の量を節約した「超節水型トイレ」を開発して、環境にも配慮したトイレづくりが行われています。



大分市

中津市

④ フローリング(床) 池見林産工業

無垢材という一本の木からとれるつなぎのない木材を、床や壁に使っています。1ヵ月でサッカーのグラウンド約6面分（約4万坪）の国产針葉樹製の無垢材（一枚物）の建材をつくりており、生産量は日本一です。



大分市

⑤ 各種プラスチック製品などに使われるエチレン・プロピレン 大分石油化学コンビナート（クラサケミカル 大分コンビナート）

大分県産のけたや木製サンダルは江戸時代から続いている産業であり、今でもその伝統が引継がれています。材料には日田杉を使っていて、木を削った形に削ったり裏緒を付けたりする仕事ごとに工場があり、それぞれ協力しあっています。



日田市

⑥ ゲンポール 王子マテリア 大分工場

一度使われた紙を再利用してつくる段ボール原紙（段ボールの表面に使われている紙）を1年間に約30万t（大分市47万人全員が、紙を毎日約1.7kg使用する数量）もつくりています。



大分市

大分製紙

OA用紙、牛乳パック、カタログ、チラシなど一度使われた紙をリサイクルしてトイレットペーパーをつくりています。1日で作るトイレットペーパーを伸ばしていくと地球1周分になり、この生産量は全国トップクラスとなっています。また、日本銀行が回収した古いお札（紙幣）もトイレットペーパーとして生まれ変わっています。



大分石油化学コンビナート（クラサケミカル 大分コンビナート）

クラサケミカル大分コンビナートを中心とした13社でつくれられているコンビナートの規模は全国トップクラスです。クラサケミカル大分コンビナートでは、石油からできたナフサを利用してプラスチックや合成ゴムなどの原料となるエチレン、プロピレンなどをつくりています。



日田市

⑨ 家の土台に取り付けられたゴム 国東市

スタークックス

家が地震で揺れたときに振動を吸収して倒れないようにする高機能ゴムをつくっています。また、自動車用のゴム製品もつくっています。

⑩ 半導体の開発 日出町

日本テキサス・インストゥルメンツ 日出パッケージングセンター

アメリカのテキサス州に本社がある、半導体を製造している世界の中でも大きな会社です。半導体は携帯電話などの電子機器を動かすとても大事な部品です。日出パッケージングセンターでは、半導体のパッケージ開発などを行っており、いろいろな工場への技術を展開しています。

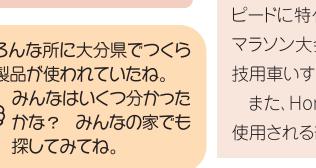
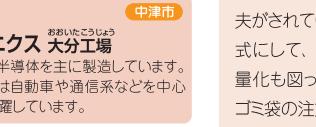
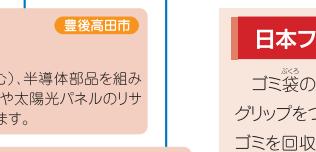
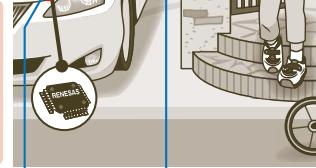
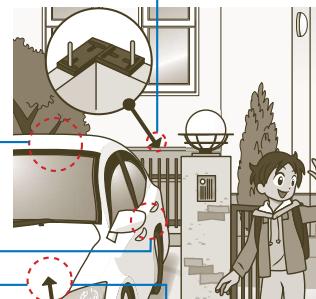


⑪ 鉄(自動車) 日本製鉄

九州製鉄所大分地区

年間で約1,000万t（普通乗用車で1,000万台分）の鉄をつくりている日本を代表する製鉄所。鉄のもと（鉄鉱石）を溶かす高炉は九州製鉄所大分地区のものが世界最大級です。（→P7で詳しく紹介）

（→P7で詳しく紹介）



日本テキサス・インストゥルメンツ 日出パッケージングセンター

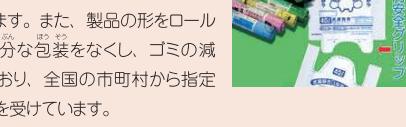
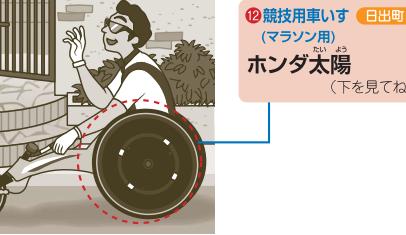
アメリカのテキサス州に本社がある、半導体を製造している世界の中でも大きな会社です。半導体は携帯電話などの電子機器を動かすとても大事な部品です。日出パッケージングセンターでは、半導体のパッケージ開発などを行っており、いろいろな工場への技術を展開しています。



⑫ ゴミ袋 大分市

日本フィルム

（下を見てね）



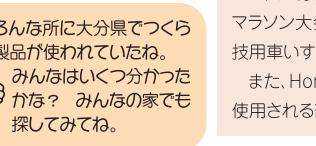
日本フィルム

ゴミ袋の上下に握りやすい回収者用安全グリップをつけて、袋の口を結びやすくし、ゴミを回収する作業員のケガを防止する工夫がされています。また、製品の形をロール式にして、余分な包装をなくし、ゴミの減量化も図っており、全国の市町村から指定ゴミ袋の注文を受けています。



⑭ ガソリン ENEOS 大分製油所

原油をガソリン、灯油、軽油などに精製する九州唯一の石油精製工場。1日で21,622m³（25m³×888杯）の原油を精製します。



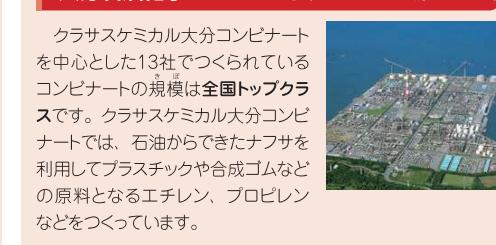
ホンダ太陽

HondaがJetやF1で研究した技術を活かし、車体の軽量化・トップスピードに特化した、大分国際車いすマラソン大会などでも使用される競技用車いすの販売を行っています。また、Hondaの自動車やバイクに使用される部品の製造も行っています。



出展元：ホンダ太陽株式会社ホームページ
<https://racer.honda-sun.co.jp/>

大分石油化学コンビナート（クラサケミカル 大分コンビナート）

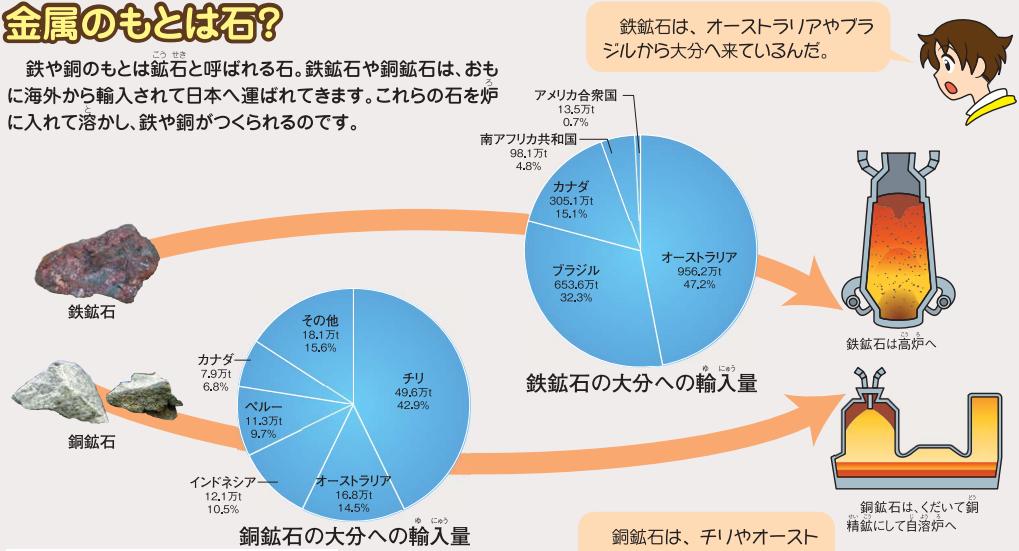




大分には、機械やものの部品に使われている鉄や銅などをつくっている企業もあるよ。ちょっとのぞいてみよう。

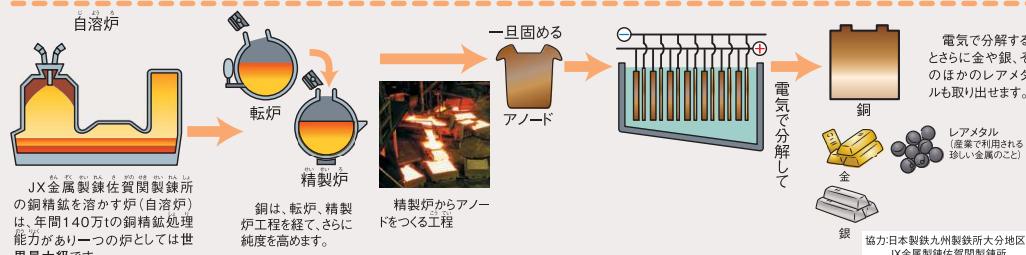
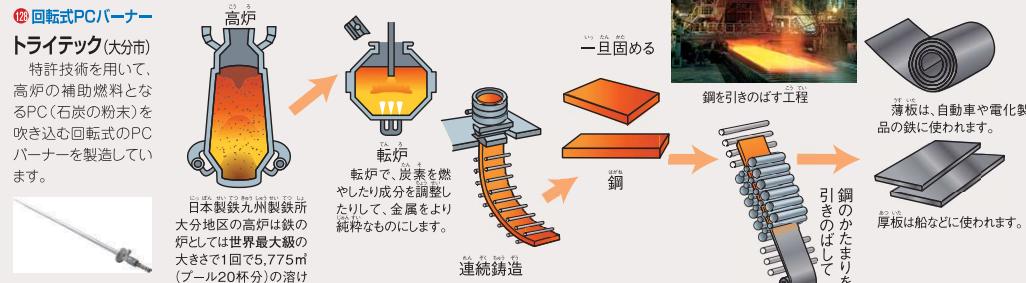
金属のもとは石?

鉄や銅のもとは鉱石と呼ばれる石。鉄鉱石や銅鉱石は、おもに海外から輸入されて日本へ運ばれてきます。これらの石を炉に入れて溶かし、鉄や銅がつくられるのです。



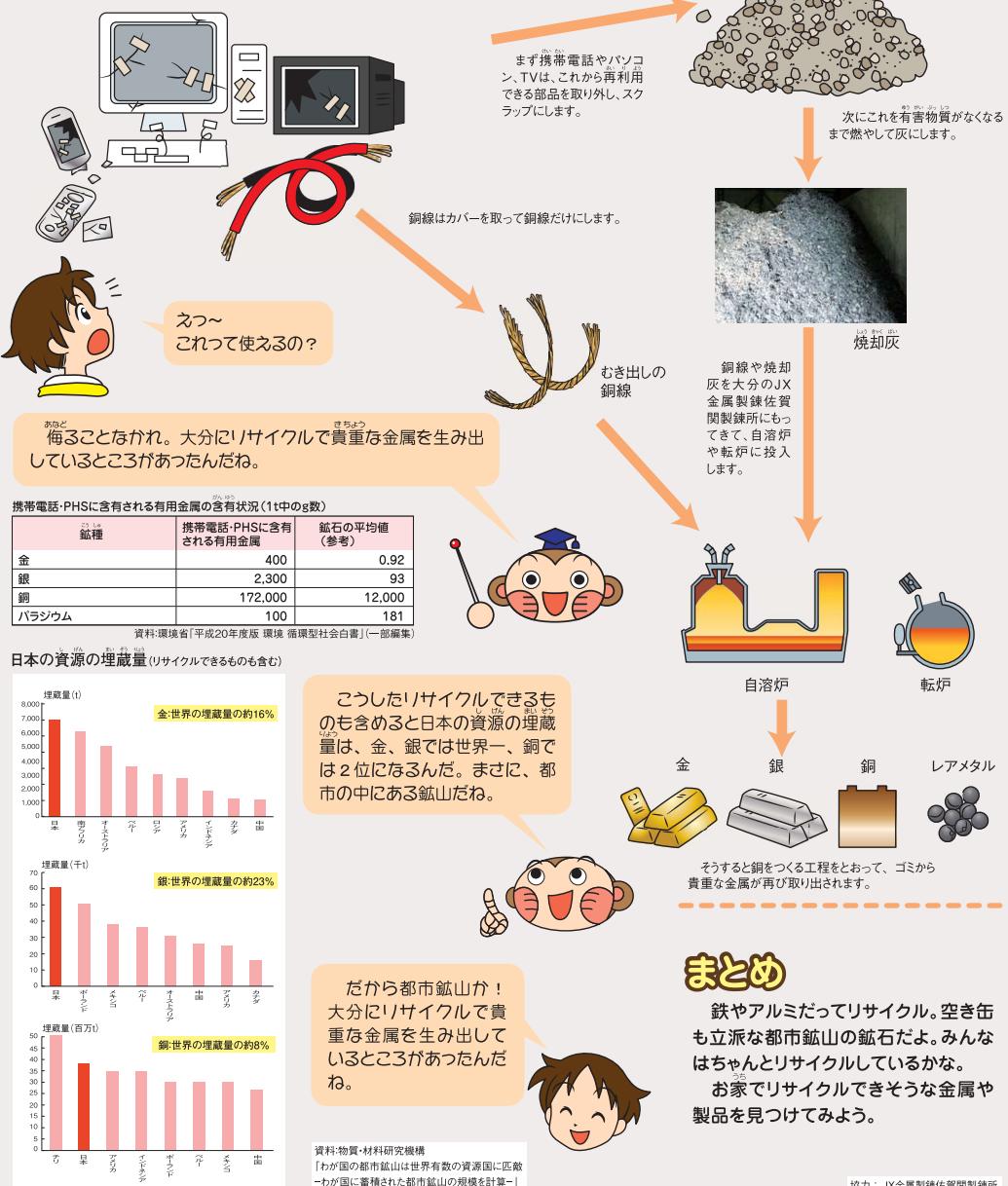
世界最大級の炉

鉱石を溶かすためにつくられた設備を「炉」といいます。まずは炉で鉱石を溶かし、不純物を取り除いて鉄や銅だけで固めていきます。



発見! 都市鉱山

鉄鉱石や銅鉱石は、鉱山と呼ばれる鉱石がとれる場所からとり出されています。こうした鉱山は、今の日本にはその数が少ないので、外国から輸入して使っています。しかし、日本にも鉱山と同じような「宝」の山があるんですよ。



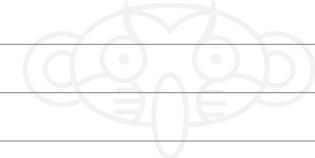
まとめ

鉄やアルミだってリサイクル。空き缶も立派な都市鉱山の鉱石だよ。みんなはちゃんとリサイクルしているかな。

お家でリサイクルできそうな金属や製品を見つけてみよう。

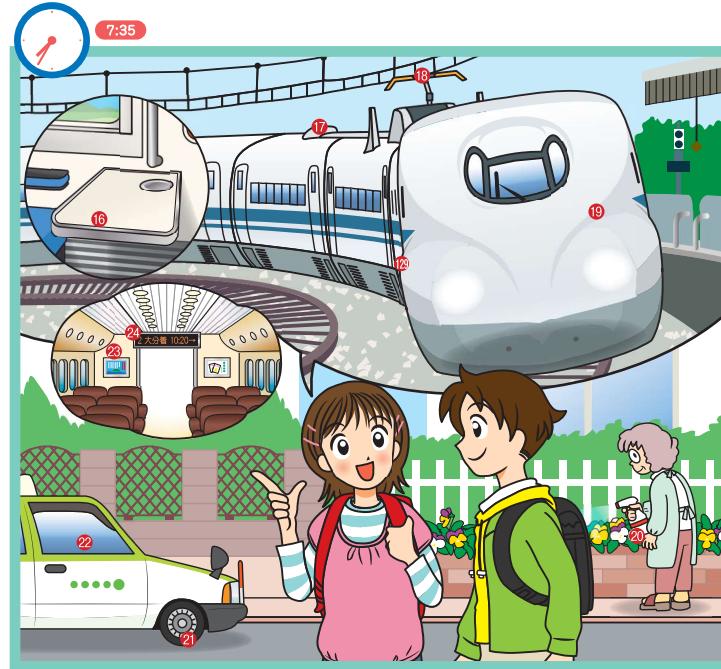
メモ

○自分の身の回りの工業製品を書き出してみよう。



○金属製品がどんなところで使われているのか書き出してみよう。

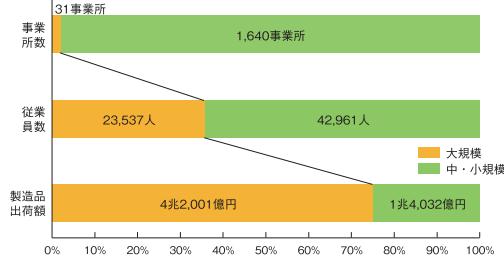
学校へ行こう



近くに住んでいる「博士」と一緒に学校に行く。彼女の電車好きは近所でも有名で、ついたあだ名は「電車博士」。
今日の話題は、新幹線について。新幹線は、毎日、博多から東京まで約1,200kmを1往復するから、高速で安全に新幹線を動かすためには、丈夫な部品が必要なんだって。でも、実は博士は一度も新幹線に乗ったことがないらしい。
ほくもだけど。

県内製造業の従業員規模別統計表

資料：2023経済構造実態調査（製造業事業所調査）



注
表中に使用した企業規模については、統計の都合上、従業員規模が299人以下を中・小規模とした。
また、表中の製造品出荷額については、工業統計調査で使用されている「製造品出荷額等」を記載した。

通学路の向こう側に新しいホテルとコンビニができる。最近のコンビニは、スマートフォンで買い物ができるらしい。とても便利なんだって！
博士は「便利なのは電気のおかげだよ」だって。その電気は電線から送られる。台風や大雪の時でも、どこにでも電気を届けられる電線もすごいよね。





通学路からは港が見える。ほど博士は、毎朝、港を見ながら登校しているんだ。港には大きな船がいくつも浮かんでいる。近くには、造船所もあって、たくさんの部品がいくつも運ばれてくる。あんな鉄のかたまりが何で海に浮くんだろう？ となりではでかいクレーンがコンテナをいっぱい船に積んでいたよ。

こんなに大きいものをつくり、動かしたりするのも、全部人間が作業してるんだ！

すごいよね。



一步進んだ豆知識① 船が浮く秘密

つばくんや博士の通学路からは船がたくさん見えていたね。みんなは登校中にどんな景色を見るができるかな？ 大分でつくられたものが意外にあるかも。ところで船はなぜ海上に浮くことができるのか考えてみよう。

① 1kgのおもりはすぐに水に沈むよね。
1kg以上あるのに沈まない。なんですか？

② まず、せんめんき洗面器を水に沈めてみよう！ 水の中からものも浮かべようとする力「浮力」が働いているんだ。

③ 浮力は、沈めるものの体積が大きければ大きいほど強くなるんだ。
1kgのおもりと1kgの鉄ナベで比較してみよう。

同じ重さでもおもりより、鉄ナベの方が浮力は大きい。
だからナベは浮くけどおもりは沈む。これが船の浮く秘密です。

浮力はアルキメデスという人が発見したんだよ。どうやって発見したのかな？ みんなも実際に粘土などを使って浮く原理を調べてみよう！

乗り物は丈夫でかっこいいし、色々な技術が詰まっているんだね。ぼくも興味がわいてきちゃつた！
このシーンでは、学校に行くまでの間に見つけたものを見てみよう。



17 高速鉄道の屋根カバー 長尾製作所

佐伯市

16 新幹線の座席のテーブル 二豊鉄工所

佐伯市

鉄道用車輌の内装部品をつけています。半導体の製造装置、医療機器、食品機器などの金属部品もつけており、身近な生活を支える金属の加工に取り組んでいます。

23 塗料、 印刷インク用溶剤 大分石油化学コンビナート (クラスクミカル大分コンビナート)

大分市

コンビナートでつくられるエチレンを使って酢酸エチルといわれる印刷インクなどの溶剤をつけています。酢酸エチルは環境に優しい溶剤として注目されています。

22 タクシーの 配車管理システム モバイルクリエイト

大分市

タクシーの利用者に、一番近い車がむかえに行けるように管理するシステムを開発しています。

帝国カーボン工業

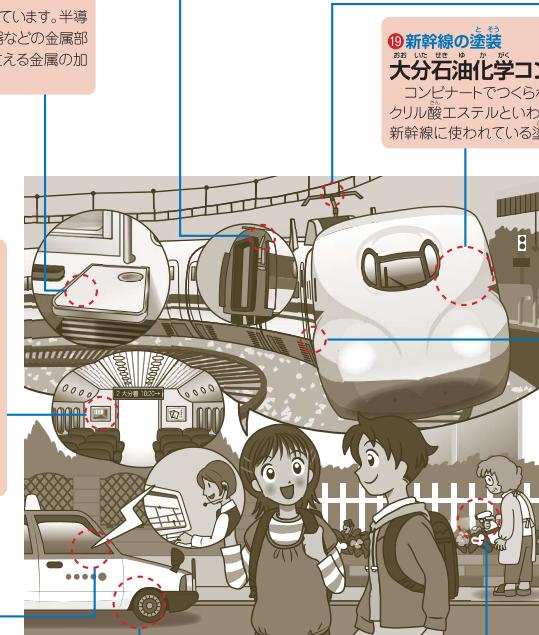
長距離の走行に耐えられるように摩耗を少なくする工夫がされたパンタグラフ(電線から電気を受け取る装置)のすり板を開発し、全国のJR電車や私鉄電車で使われている金属製すり板の約40%を占めています。北海道・東北・東海道・山陽・九州新幹線にも採用され、日本の高速鉄道の安全性の確保に一役買っています。



18 新幹線のパンタ グラフのすり板

大分市

半導体や液晶テレビの製造装置に使用される部品をつくる技術を生かして、高速鉄道などで必要な車両部品をつけています。車両部品の一部は海外でも使用されています。



19 新幹線の塗装

大分石油化学コンビナート(東亞合成)

コンビナートでつくられるプロピレンなどを利用してアクリル酸エチルといわれる耐候性、透明性等に優れた新幹線に使われている塗料をつけています。

20 電気御用 半導体 大分デバイステクノロジー

電気モーター(電車／電気自動車など)の電源供給制御や、交流／直流電力変換に使われる、電力用半導体をつけています。

20 園芸用殺虫剤 住友化学 大分工場

(下見てね)



住友化学 大分工場

農薬や医薬品のもととなる化学製品をつくる工場。60年以上もついているスミチオンは、効果的に害虫を駆除することができ、人や環境にもやさしいため、農業用だけではなく、園芸用としても世界各国で利用されています。

㉕ビニール提灯 宇佐市
宇佐ランタン
(下を見てね)

㉖ホテルのテレビに付いている機器
ケイティーエス

ホテル向けの客室マルチメディアシステムをつくりています。全国のホテルで使用され、国内トップクラスの販売シェアとなっています。



㉗電線の製造 大分市
西日本電線
(下を見てね)

㉘シャワー
大分市
TOTOアクテクノ
大分工場

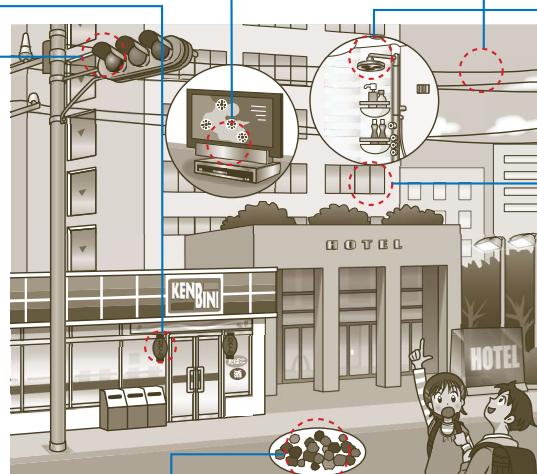
高品質の水栓金具(浴室用シャワー等)を製造しています。特にシャワーバーバー水栓は、ワンタッチで簡単操作、お湯の温度が上下しないといった機能を持たせて、国内だけでなく海外でも好評です。

㉙窓ガラス
日出町
九州ナノテック光学

オフィスや病院、家などのガラスの面を電気の力で「見える透明」「見えない白濁」に一瞬でコントロールできるフィルムをつくりっています。このフィルムはそれ以外にとてもキレイな映像をガラスにうつせます。車の窓ガラスにも付いていて、2020年6月~2024年10月の間に25万台分のフィルムを売上げました。

㉚信号機の
フード
玖珠中央発条工業

薄い鉄板をプレス機で加工して、信号機やバイクの部品などを生産しています。その他にも、鉄を曲げたり溶接して、コンビニエンスストアなどで使われている大きな冷蔵庫の棚などもつくれています。



㉛再生クラッシャー
大分市
大総

ビルなどを解体したコンクリートを碎いて再利用し、道路の下地となる再生路盤材をつくりています。



宇佐ランタン

全国でもトップクラスとなる年間約30万個のビニール提灯を生産しています。オーダーメードで生地の印刷から提灯の製造までを一貫して行っており、短い納期で対応できるため、人気があり、全国各地で販売しています。また、障がいのある人が働きやすいように道具などに様々な工夫がされています。



西日本電線

安全・安心な生活に欠かせない電気や情報(インターネット)を運ぶ電線やケーブルを製造しています。これらの製品は、普段目にする電柱だけではなく、地下、工場やビルマンション、住宅などの見えないところにも張り巡らされています。また、停電をさせずに工事ができる機材や電線を保護するチューブも日本全国へ広く出荷しています。



大分の工業製品は私たちの生活のいろいろな所で使われているんだね。

㉕旅客船
白杵造船所
白杵市

旅客船やケミカルタンカーなどをつくりています。姫島丸や国道九四フェリーはここでつくりました。また、ケミカルタンカーについては鉄とステンレスなど種類の違う金属同士の溶接をする技術をもっています。(→P15で詳しく紹介)

㉖セメント運搬船
三浦造船所
佐伯市

セメント運搬船やLPG運搬船など多種多様な船舶をつくりています。国内外を航海する顧客の注文に応じたオーダーメードの船づくりをしています。(→P15で詳しく紹介)

㉗自動車運搬船
南日本造船
大分市

自動車運搬船など様々な種類の貨物船をつくりています。自動車運搬船は、船の中に立体駐車場をつくるように組み立てます。大分工場では大分県内でも一番大きい船をつくることができます。(→P15で詳しく紹介)

㉘フレジャーポート
(クルーザー)の窓ガラス
大倉

ポート作業船・取締船等の窓や扉をつくりています。このうち、フレジャーポートに使用されている窓の生産シェアは日本でも上位です。

㉙漁船
ヤンマーマリン
国東市

インターナショナルアジア
FRP(繊維強化型プラスチック)の船(漁船やフレジャーポート)をつくりています。大分・日本だけではなく、海外でも船の製造や販売を行っている会社です。

㉚漁網
長浦製網所
宇佐市

沿岸漁業で使う刺網や置置網などをつくりています。魚に見つかりにくい網をつくる高度な技術が評価され、デンマークやアメリカなど、魚をよく食べる国々に輸出されています。

㉛パルクキャリア
佐伯重工業
佐伯市

主にパルクキャリアや、荷物を乗せたトレーラー等が乗り入れて直接積みこみができるRORO船などの貨物船をつくりています。ここでつくりられたRORO船「わかなか1」には、積荷のトレーラーを自動で固定できる世界初の新技術が使われるなど高い評価を受けています。(→P15で詳しく紹介)

㉜クレーン
ヤクテツ
津久見市

地元企業では唯一200t(普通乗用車で200台分)までのものをつり上げることのできるクレーンをつくりています。

㉝自動車運搬船
南日本造船
大分市

自動車運搬船など様々な種類の貨物船をつくりています。自動車運搬船は、船の中に立体駐車場をつくるように組み立てます。大分工場では大分県内でも一番大きい船をつくることができます。(→P15で詳しく紹介)

㉞フレジャーポート
(クルーザー)の窓ガラス
大倉

ポート作業船・取締船等の窓や扉をつくりています。このうち、フレジャーポートに使用されている窓の生産シェアは日本でも上位です。

㉟漁船
ヤンマーマリン
国東市

インターナショナルアジア
FRP(繊維強化型プラスチック)の船(漁船やフレジャーポート)をつくりています。大分・日本だけではなく、海外でも船の製造や販売を行っている会社です。

㉟コンテナバッグ
日豊製袋工業
中津市

貿易などに使われる大量のものを詰め込むための袋(コンテナバッグ)をつくりています。九州で唯一コンテナバッグの耐久テストをして国連規格を認定できる資格を持っています。障がいのある人も働きやすいように、作業場で色々と工夫している企業です。

㉚埠頭で使用される
光電
國東市
三井E&S
大分工場
(下を見てね)

㉛ケミカル
タンカー
臼杵市
下ノ江造船

世界最大級の溶融硫黄運搬船・世界初の濃硝酸運搬船などのケミカルタンカーや、プロパン・ブタンなどの液化石油ガスを運ぶLPG船などをつくりています。(→P15で詳しく紹介)

㉜ツイン
デッカー
佐伯市
本田重工業
佐伯工場

貨物船や石炭運搬船、車両を乗せて運ぶRORO船などをつくりています。重い荷物を吊り上げる大型クレーンや車が乗り入れることが出来るスロープを装備した船を建造して国内外で活躍しています。(→P15で詳しく紹介)

㉝コンテナバッグ
日豊製袋工業
中津市

貿易などに使われる大量のものを詰め込むための袋(コンテナバッグ)をつくりています。九州で唯一コンテナバッグの耐久テストをして国連規格を認定できる資格を持っています。障がいのある人も働きやすいように、作業場で色々と工夫している企業です。





大分県南部はリアス式海岸なので、入り江は波がおだやかで、水深が深くなっているよ。だから、昔から良港として有名で、造船業が盛なんんだ。大正時代に鋼鉄製の船がつくられ始めてから今まで、世界で活躍する船をいっぱいつくりてきているよ。



バルクキャリア

鉄鉱石、石炭、小麦などを袋詰めではなく、バラの状態で船に積めるように設計された船舶
全長:164m~175m
積載量:22,000t~47,000t
つくられる場所:佐伯重工業、南日本造船



LPG船

プロパンやブタンなどの液化石油ガスを運ぶ船舶
全長:約100m
積載量:5,000t
航海速力:約13.5ノット
つくられる場所:下ノ江造船、三浦造船所



多目的貨物船

鋼材、コンテナ、自動車や工場の設備などいろいろなものを運ぶ船舶
全長:125m
積載量:13,800t
航海速力:約15ノット
つくられる場所:三浦造船所、本田重工業、下ノ江造船、佐伯重工業、南日本造船



自動車運搬船

船体の側面に車の渡るスロープを装備しており、船内は立体駐車場のようになっている。乗用車を大量に運べるように設計された船舶
全長:199.5m
積載台数:6,500台
航海速力:約20.7ノット
つくられる場所:南日本造船、佐伯重工業



タンカー

液体を輸送する船舶。石油や化学物質を運ぶ船舶
全長:60m~295m
積載量:1,277t~75,000t
航海速力:10.7~15.5ノット
つくられる場所:臼杵造船所、下ノ江造船、三浦造船所、南日本造船



旅客船

国内で航行するためのフェリー
全長:36.5m~100m
旅客数:211人~600人
航海速力:12.5~20ノット
つくられる場所:臼杵造船所、三浦造船所

こんなにたくさんの種類が大分でつくれられているんだね！



船ができるまで

船はブロックをつくる積み木のように組み立てていきます。大分ができる最大級のタンカーの組み立て方を見てみましょう。



鐵を熱して水をかけただけ、どれくらい曲がるかわかるなんてすごいね。

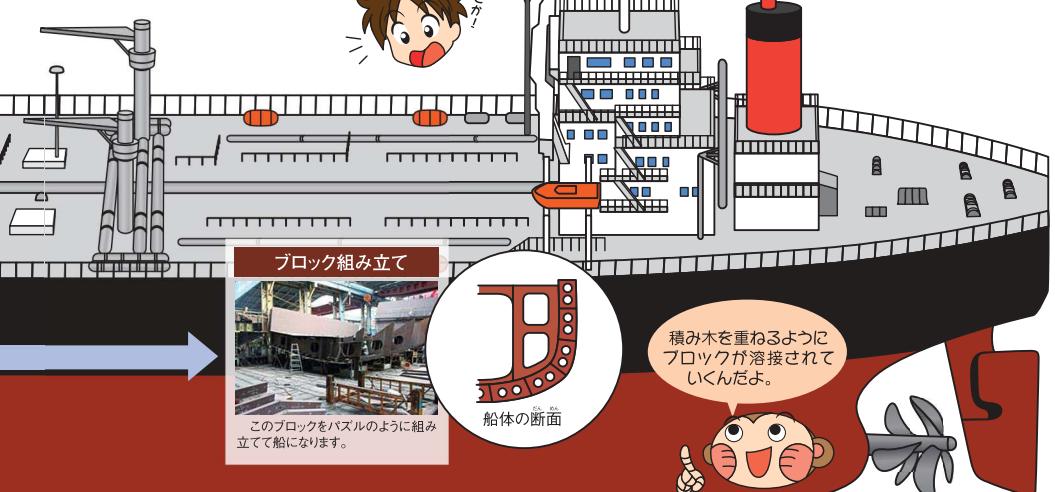
ぎょうじゅつ 鉄

このような船のかづくは、撓鉄という技を使います。鉄をあたためて膨張させ、水をかけて収縮させます。

機械にはできない、まさに熟練の技だよ。

溶接

曲げた鉄板や真っ直ぐの鉄板を集めてブロックをつくります。そのとき金属をくっつけるのが溶接です。



ものづくり産業では色々な技術が使われているけど、溶接は造船のような大きなものから、金属製の棚まで幅広く使われている技術なんだ。溶接の県チャンピオンになった高校生、池永裕貴さんどんな技術なのか教えてもらおう。



溶接でどんなことができるの？

基本的には金属と金属をくっつけるのに必要なのが溶接なんです。文字通り溶かして、くっつけます。

みんなが溶接したものを安心して使うためには、くっつけたところの強度が重要なんです。



溶接のどんなところが好き？

僕は暑いときに溶接をしてたくさん汗をかくことが好きです。溶接をした跡（ビード）がきれいに出来たときは嬉しくて、やり気がもつとわいてきます。



溶接に取り組む池永さん

中津東高校2年
池永 裕貴さん

学年はR4年度当時のものです。

池永さんは大分県の高校生が参加する溶接の大会で一番いい賞をもらつた人なんだよ。

